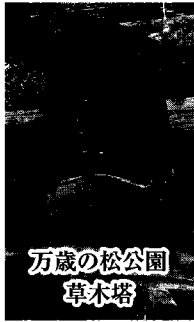


# 《栗子トンネルの通り初め》



刈安から福島へ

祝 (財)東北中央自動車道 福島大笹生IC～米沢北IC間 開通



万歳の松公園 草木塔



開通式典で会長がメッセージ



梓山獅子踊りメンバー

この度の東北中央自動車道開通式で八幡原ICにて獅子舞を披露しました。今回で郷土の梓山獅子舞の披露は三回目となります。最初は平成十一年三月二十七日の中心杭打ち式で、今のチェーンベース付近の前の大テントの中でした。二回目は平成二十六年三月二十二日栗子トンネル貫通式で、福島側入り口から貫通点まで入り、披露しました。この高速道路建設で披露できたことは郷土の誇りでもあります。

十一月四日の開通式では、石井国土交通大臣、吉村山形県知事の挨拶の後、山形県選出の国会議員の皆様のご祝辞がありました。その後地元を代表して梅津会長が開通メッセージを行いました。

十月二十一日米沢八幡原ICに草木塔を建立しました。自然の恵みに感謝し草木を供養するものです。

急峻な奥羽山脈越えを強いられ、我が国で最も厳しい条件にあり、その克服に幾多の歴史的な変遷をたどってきました。

この地に高速道路が建設される契機となったのは、山形県初代県令三島通庸の「地域経済発展のためには道路整備が必要である」との強い信念のもと、明治十四年十月三日に開通した万世大路栗子隧道があつたことです。

栗子隧道は、岩盤が強固のため、世界に三台しかないといわれた蒸気式の削岩機によるなど当時の最新技術で工事が行われるとともに、その延長は八七六メートルであり、当時の日本最長トンネルの四倍を超えるものでした。明治十三年十一月に貫通し、当時の我が国の英知を結集した栗子隧道の開通式は明治天皇の行幸とあわせて挙行され、この地の由来となった「万世大路」と命名されました。当時の記念樹として植えられた、樹齢約二〇〇年の風格を持つ万歳の松は、ここ米沢八幡原インターのランプ内に入り、米沢市により整備された公園とともに、この地を永久に後世に伝えて参りたいと考えております。

時代は自動車社会となり、二代目のトンネルが昭和十二年に大改築されましたが、冬期間は通行できませんでした。

昭和四十一年に三代目として国道十三号が開通しましたが、冬には通行止めが発生し、その度に大幅な迂回を強いられ、生活の支障になっていました。本日開通した四代目とされる高速道路はこれらを解消し、冬期の交通の安全安心が実現され、私たちの生活がさらに豊かになるとともに、地域経済の発展に寄与するものと期待しています。開通前から、ここ八幡原インター周辺には八幡原工業団地が造成され多くの企業立地が進み、地域の活性化が始まっています。

この高速道路は山形県にとって、福島県はじめ首都圏とつながる重要な路線であり、地権者を含めて地域住民はこの道路に多くの期待をして協力してきました。県境を跨ぐ栗子トンネルは、東北地方では最長であり、国土交通省が管理するトンネルとしては日本最長です。交通安全を第一に事故のないことをお祈りするとともに、先人の偉業を後世に伝承し、子供たちの将来に夢や希望をつなぐものとなることを期待しています。

本日は誠にありがとうございます。

# 萬世の大路

第23号  
平成30年3月1日発行

発行者  
歴史の道 土木遺産万世大路保存会  
会長 梅津 幸保

事務局  
万世コミュニティセンター  
☎0238-28-5381

題字は村山道雄 元山形県知事

東北中央自動車道  
開通メッセージ  
会長 梅津幸保

ご紹介いただきました梅津幸保です。  
この度の開通式におめでとうございませう。  
その昔、米沢の福島県境に位置する栗子峠は